

菰野と円頓寺にサウナ施設も起業 「つくることを通じて前進する」を信念に

株式会社 LEO 粟生 万琴代表に聞く

若手起業家を支援育成する仕事に加え自らも貸し切りサウナ施設を地元で起業した粟生万琴さんは、いまや名古屋・東海にとって欠かせないスタートアップ・プロデューサーの一人だろう。ソフトウェアの開発エンジニアからスタートし、大手人材サービス会社の社内ベンチャーの役員を経て AI 普及会社を起業。しかしその役員の身分を捨てて名古屋に戻り起業創出の場「なごのキャンパス」で若手起業家の育成に携わる。続けて、自分でも株式会社 L E O を起業し、FM 放送では若き起業家たちを世に紹介するナビゲーターも。まさに八面六臂に活躍するそのチャレンジ精神は「(新しい事業を) つくることを通じて前進する」という信念の女性だ。

(編集顧問 中西英夫)

粟生 万琴 (あおう まこと) 三重県伊勢市出身。なごのキャンパス内にある株式会社 LEO 代表。エンジニアとしてソフトウェア開発に従事した後、IT 人材サービス会社で Web アプリ開発の社内ベンチャー立ち上げ、初の女性役員に就任。2016 年 AI ベンチャー、株式会社エクサインテリジェンス (現 株式会社エクサウィザーズ) 創業。取締役 COO を経て、19 年「なごのキャンパス」プロデューサー、20 年 ZIP-FM 「Startup [N]」のナビゲーター就任。武蔵野大学アントレプレナー学部教授、名古屋大学産学官連携本部客員准教授。22 年 3 月から名古屋市教育委員就任。三重県 DX アドバイザー、愛知県革新創造戦略委員等を務める。



——多彩なキャリアを重ねてこられましたね。

粟生 仕事人生のスタートはソフトウェアの開発エンジニアからでした。実際のビジネスの現場で知りたいと思い、大手人材サービスの会社に転職しました。社員が会社に籍を置きながら社内ベンチャーもやらせていただけるので飛び込んだのです。タイのバンコクでジョイントベンチャーを立ち上げる仕事をしたり、日本では、地方創生とマーケティングで若い人材が地元に着住して働けるような人材育成プログラムを、佐賀大学、愛媛大学で産官学連携の授業をつくりました。この会社で 2012 年に初の女性役員に抜擢していただき、自社 WEB

サービス事業の分社、産官学連携スタートアップ推進プロジェクトの責任者を担当。大学の研究開発の技術をベンチャーとして起業化させようという国の施策の事務局の仕事で全国の大学を回りました。

AI 普及のベンチャー設立

——教育の現場ともご縁ができたわけですね。

粟生 そのご縁で知り合った大学の研究者らとともに 2014 年にアメリカに視察に行きましたが、アメリカでは既に「人工知能」なんて呼ばない。Siri (音声認識アプリ) だとか、自動翻訳機能は当たり前という現実でした。日本で